

神奈川新聞に掲載されました！ 2023. 3. 28朝刊

介護福祉士国家試験38名全員合格！

「全員、合格だ！」一。川崎市立川崎高校福祉科（川崎区）をこの春に卒業した3年生が喜びの声を母校に響かせた。同科の38人全員が介護福祉士の国家試験の合格点を超えた。2020年4月入学の生徒たちは新型コロナ

ウイルス禍で難しい学校生活を過ごしながらも、努力の末につかみ取った。期待に胸を膨らませ、介護現場や専門学校など新たな道へと歩み出す。

（平綿 裕一）

# 介護士 全員で一步

「お母さんに負けないくらいに介護士で、すてきな人になりたい」

「自分探点だけでは不安だった。みんなの番号があって安心した」。看護系の専門学校に進む星樹さん（18）＝同区＝は顔をほころばせた。星さんは家族が親族を介護する姿を見て、「人の役に立ちたい」と進路を決めた。コロナ禍で医療現場や介護現場は厳しい状況にあると感じてきたが、「絶対に必要な仕事。そこを支える一人になりたい」と意気込む。

筆記試験は1月29日にあった。合格発表の3月24日には同科の生徒が母校に集まり、午後2時から公開される合格者の受験番号を確かめた。全員合格が改めて教諭から伝えられると、歓喜の声が上がった。

## 今春卒業 市立川崎高福祉科の生徒

## 実習苦勞、喜びひとしお



全員合格が伝えられた瞬間に歓声を上げる生徒たち  
＝川崎市川崎区

と、同じ介護福祉士の母親の背中をみて育った野室志織さん（18）＝同区＝は思いを語る。「大変だけど笑顔で『ありがとう』と言われるとやりがいを感じる」。そう言った母親の言葉がいまも胸に残る。

野室さんは社会福祉法人の施設で働くことが決まっている。「『あなたに看てもらえて良かった』。そんなことを言ってもらえるような介護士を目指します」と目を輝かせていた。

☆コロナ禍の3年間で、65日間の施設（現場）実習のうち半数以上が中止となり、校内で実習代替授業を行いました。福祉科、クラスが一丸となって将来の夢や希望を持ちながら介護福祉士国家試験に臨み、見事38名全員が合格を果たしました！

読売新聞に掲載されました！ 2023. 4. 2 朝刊



全員合格を喜ぶ生徒たち  
(3月24日、川崎高校で)

川崎市立川崎高校（川崎区）の福祉科を3月に卒業した38人が、2022年度の介護福祉士国家試験に合格した。合格率は100%で、全国の84.3%を大きく上回った。

同高で介護福祉士を目指す生徒は、福祉施設での実習が授業に盛り込まれているため、在学中に国家試験の受験資格が得られる。合格した生徒は専門学校などでさらに理解を深めたり、福祉施設に就職したりする。

合格した野室志織さん(18)は

市立川崎高

# 38人が全員合格 介護福祉士試験

「大変そうだけどやりがいがあると知って目指したいと思った」と話す。今月から福祉施設で働く予定で、「あなたに介護してもらえてよかったと言われる仕事がしたい」と目を輝かせている。

同高の合格率100%は4度目。今回合格した38人はコロナ禍になった20年4月の入学で、福祉科主任の佐藤智広教諭(46)は「大きな影響を受けたが希望を持って努力し、結果を出してくれた。ここから自分の夢に向かって頑張ってもらいたい」とエールを送った。

☆福祉科の3年生38名全員が合格するという栄冠を勝ち取りました！(合格率100%)  
今回の介護福祉士国家試験の全体(全国)の合格率は、84.3%を大きく上回りました。